



まちの話題

今年もアイデアが光る作品が完成

第13回NCCふるさとCM大賞

第13回NCCふるさとCM大賞最終審査が3月4日、長崎市で開催され、松浦高校放送部が出品したCM動画「アジメ(かける)野球」が準グランプリに輝きました。

ふるさとCM大賞は、NCC長崎文化放送の主催で、県内各市町のふるさと自慢を30秒のCM動画で表現し、その出来栄を競います。

作品は「アジフライ」をテーマにしたCM動画で、放送部員4人が、企画・撮影・編集などの制作作業をすべて自分たちだけで行い、約3週間かけて完成させました。

4月からNCCの番組内で放送されるほか、NCCホームページ、NCCオンデマンドなどでもご覧いただけます。



人をつなぎ地域をつくる場所

上志佐公民館 優良公民館表彰

第70回優良公民館表彰で、上志佐公民館が3月8日、文部科学大臣表彰を受けました。

この表彰は全国の公民館のうち、特に事業内容・方法などに工夫をこらし、地域住民の学習活動に大きく貢献しているものを、優良公民館として文部科学大臣が表彰するものです。

上志佐公民館は、平成21年の開館以降、高齢化と少子化が進む当該地域の課題解決のため、子どもを核として地域の大人同士のつながりをつくって地域活性化を図るとともに、家庭教育支援などの各種講座を積極的に実施しています。

受講者が子ども講座の講師をするなど、学んだ成果を活かせる学びの機会の提供や、川釣り体験など周辺の自然環境を活かした自然体験活動の充実に取り組んでいます。



受賞した上志佐公民館
小牟田館長(中央)

未来は自分で創りだせる

カタリ場 in 松高

「カタリ場in松高」が2月22日、松浦高校で開催されました。「カタリ場」とは、NPO法人カタリバが高校生の進路意欲を高めるキャリア学習プログラムで、「自分もこんな大人になりたい」という出会いをきっかけに、将来への主体的な一歩を踏み出すきっかけづくりとして行われています。

この日は、同校の2年生86人が参加。体験談発表では、同校第53回卒業生山本萌香さんの進路選びの話の聞いたり、少人数で輪になって対話する場面では、大学生が相談相手となり、質問をぶつけながら、本音で語り合いました。

少し年上の先輩と話す時間は、さまざまな価値観に触れ、将来のなりたい自分をイメージする機会になりました。



まちを守る熱い想いを訴える

消防職員意見発表会

消防職員意見発表会が2月19日、消防本部で開催されました。この発表会は、消防職員の自覚と志気の高揚を図るとともに、職員の資質向上を目的に開催されています。

今回は5人の消防職員が出演し、日頃の業務を通して感じたことや今後消防業務に取りくむべきことについて、救命講習や自主防災組織などのテーマで発表しました。

審査の結果、最優秀賞に寶田亮太さんの「目指したことと目指すこと」が選ばれ、常備消防のない離島での消防力向上のために、住民への救命講習の必要性などを訴えました。

なお、寶田さんは、4月に諫早市で開催される第41回長崎県下消防職員意見発表会に出場します。



地域のために頑張っています！

中学生の地域貢献活動

市内の中学校が共同で実施しているアルミ缶回収事業の収益金の贈呈式が2月24日、松浦市社会福祉協議会（大畑安盛会長）福島支所で行われ、収益金53,200円（回収総重量1,390kg）が同施設へ贈られました。

市内中学校では、平成10年から同事業に取り組み、地域貢献の一環としてその収益金を福祉用具の購入などに役立てています。贈呈式には、生徒を代表して福島中の生徒3人が同施設を訪れ、各校の活動の成果を発表しました。

同中2年の鴨川千璃さんは、「回収量を増やすため、学年別に競いあうなど工夫して取り組みました。地域福祉に役立ててもらえたら嬉しい。来年度も活動は続くので頑張ります」とあい

さつしました。

今回贈呈を受けた松浦市社会福祉協議会福島支所では、福島町内の公共施設などにベンチを設置することを検討しています。

また、これまでの取り組みが評価され、松浦市立中学校連合生徒会として、昨年11月に一般財団法人長崎県教育会から善行児童生徒の表彰を受けました。学校間が連携して継続的に地域貢献活動に取り組んだ成果が認められたものです。

活動は今後も継続して行われますので、引き続き市民皆さまのご協力をお願いします。



▲ベンチは、福島町内2箇所（福島総合運動公園、福島地域農水産物等直売施設「とれたて 福の島」）に設置される予定です。

団結力を高め2連覇達成！

第14回西日本魚市杯少年ソフトボール大会

第14回西日本魚市杯少年ソフトボール大会（主催：松浦市ソフトボール協会、後援：西日本魚市株式会社）で総合優勝を果たし、2連覇を達成した今福少年ソフトボールクラブに3月10日、賞状、記念楯、優勝メダルが贈られました。

この大会は、春季（5月27日実施）、夏季（8月19日実施）、秋季（11月11日実施）の計3回行われ、市内4チームが参加し熱戦を繰り広げました。

大会の結果は次のとおりです。

【団体】優勝：今福少年ソフトボールクラブ

準優勝：松浦フェニックスSBC

【個人】最優秀選手賞：鶴田一颯（今福少年ソフトボールクラブ）



松浦の、とくべつな一日。

M Session 鉄人シェフたちの美食★パーティ。

鉄人シェフたちの美食パーティが2月26日、松浦シティホテルで開催され、約180人が参加しました。

昨年3月に開催され好評を博した福岡で活躍する料理人集団「博多ミラベル21」と松浦市とのコラボ企画第2弾。新鮮な野菜に魚介類、お肉など松浦のこだわり食材がシェフの技で、斬新で、見た目も美しく、おいしい料理に大変身しました。他にも、いももちや押し寿司などの郷土料理も登場。杵と臼でのいももち作りでは、シェフや参加者もお手伝いし、会場は大いに盛り上がりました。

参加者たちは、松浦食材の新しい可能性や魅力を体感し、お腹も心も満たされるひと時を過ごしました。

